

# 三心を磨く

学校だより No. 14

令和3年3月17日(水)発行

須坂市立東中学校

文責: 嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

**祝 卒業・進級 おめでとうございます。一年間ありがとうございました。**

## 令和2年度 3学期終業式

### ～校長先生のお話

46日間の3学期が終わります。

昨年度のこの時期は、新型コロナウイルス感染症拡大により突然の臨時休校を余儀なくされ、年度末のかけがえのない12日間が失われました。卒業式当日に終業式を行い、在校生は卒業式に出席することもできませんでした。それから1年が経過しましたが、今もなお新型コロナウイルス感染症との戦いは終わっていません。それでも、みなさんやみなさんの家族が感染症予防に努め、新たな発想で行事などに取り組んでくれたおかげで、コロナ禍であっても意味のある、充実した東中の1年間を創り出すことができました。改めて全校の生徒・先生方に感謝したいと思います。ありがとうございました。

今、各学年を代表して3名の皆さんが発表してくれましたが、それぞれに課題はあったものの、充実と成長を感じ取った3学期・1年間だったことがうかがえます。全校一人一人のみなさんも、特に自分が成長したことにしっかり光を当てて、来年度につなげてほしいと思います。

さて、進路決定のための一日一日を過ごしてきた三年生。悩みながらも、自分の意思を持って進む道を決めた三年生の皆さんの姿を見ていて、これからの一人ひとりの生き方に大いに期待したいと思います。同時に、本当に沢山の人に見守られて今ここにいるということを実感したのではないかと思います。自分に対する責任と感謝の気持ちを大切に持ち続けてほしいと願います。

三年生から引き継いだ生徒会を立ち上げるために忙しい一日一日を過ごしてきた二年生。生徒総会、三年生を送る会の準備を進めながら、各委員会の定例活動を着実に進める姿を見ていて、大きな成長を感じます。新たな生徒会スローガン「改新 ～全校で創る東中～」に込められた、「持続可能」「全校が一つになる東中をつくる」という願いを、二学年全員で共有し、力を合わせて実行に移していけるように期待しています。

上級生になるための学年づくりの一日一日を過ごしてきた一年生。およそ一ヶ月前の新生説明会では、皆さんの東中生としての成長が、確かに感じ取れました。先週の金曜日にも、心のこもった三年生を送る会を二年生と協力して創り上げてくれました。間もなく進級し、先輩と呼ばれる日が来ます。年上だからではなく、あなた自身の言葉・態度・行動へのリスペクトから先輩と呼ばれるように、この節目を、自分を磨き、大きく成長する機会にしてほしいと願います。

最後に、皆さんにお願いです。

明日は、卒業証書授与式です。東中学校にとって、卒業生にとって、保護者の方々、地域の方々にとって、極めて重要な、最も大切な儀式的行事です。

一年生と二年生には、明日一日、すべてにわたって、四十六名の卒業生のためだけを考え、行動してほしいと思います。

そして、三年生は、卒業生として、これまで皆さんを見守り、支えてくださった家族・担任の先生やお世話になった先生方・地域の方々のために、心と姿を整えて臨んでほしいと思います。

全校の気持ちを一つにして、心の込もった卒業証書授与式を創りあげましょう。



## ～生徒の所感発表より



東中に入学して一年が終わろうとしています。この一年間を振り返って僕は、次の四点について課題を感じています。

一点目は、勉強です。僕は、国語の文章問題や漢字が苦手です。いろいろな勉強の仕方があると思うので二年生になったら、国語の苦手を克服したいと思っています。

二点目は、提出物です。日程を書くのを忘れてしまって、宿題などが分からなくなってしまうときが何回かありました。なので、日程を書き忘れないように注意して、二年生の時には、このようなことがないようにしたいと思います。

三点目は、学校に毎日登校することです。一年生の時にはカゼをひいて休んでしまうことが何回かありました。二年生になったら、体調管理をしっかりとし、毎日登校したいです。

四点目は、クラスの課題についてです。クラスの課題はテンションが上がりすぎてしまうことです。一方盛り上がるよさもあります。課題もありますし、よさもあるので二年生では、課題を意識しつつ、良さを生かせるクラスにしたいと思います。僕はこの四点について意識して生活することで、より充実した二年生になれるようにがんばっていきたいです。

【1年男子】

私が今学期、力を入れたことは、学習ノート作りです。今までは、字をてきとうに書いたり、覚える言葉をてきとうにまとめたりすることがあって、見返したら自分でもよく分からないと感じることがありました。けれど、その二つを直していくと、後で見返しても自分が理解できる見やすいノートになりました。こうすることで、ノートで理解できなかったところをわざわざ調べたりする手間がなくなったのでよかったです。

三年生になっての課題は、提出物を出すことです。二年生の後半から、宿題のノートを学校に忘れてたり、家でやらずに寝てしまったり、増えてきました。やらなくてはいけないと思いつつも YouTube などを見てしまうので、自分で設定した時間以外は、全く操作できなくなるアプリを入れました。これを設定したら、宿題を進めることができました。三年生になるにあたって、これらを継続して、習慣付けていきたいです。

三年生になると生徒会や部活動の中心となって忙しくなるとは思いますが、自分の目標に向かって宿題の提出率は必ず上げたいと思います。

【2年女子】

明日は、卒業式、とうとう私たち三年生の学校生活が幕を閉じようとしています。私はこの三年生としての一年間はとて濃く深く心に刻まれる思い出の一年間でした。私が三年生で心に残っていることは二つです。

一つ目は、部活動です。私たち女子バスケットボール部は、北信越大会出場を目標に日々練習をしてきましたが、大会が新型コロナウイルスの影響で中止になってしまいました。その時は本当に悔しくて、どうしたら良いか分かりませんでした。ですが、代替の大会ができることになり、その大会が私たちの目標となり、再び全力で練習に取り組むことができました。ミニバスケットボールから六年間続けてきた中で学んだことや大切な思い出は山ほどあります。中学校の三年間の部活動は私の人生の中でも本当に貴重なものになりました。この思い出や悔しさをもとに高校でも部活動に全力で取り組みたいです。

二つ目の心に残ったことは、東祭です。私は、JRC 交流委員会の委員長として主にチャレンジランキングの準備を中心に進めていました。今年は新型コロナウイルスの影響で、例年と大きく変更したり、規模を縮小したりして、何度も計画を練り直しました。とても大変でした。委員長として、全校をまとめることは、決して簡単ではなく、とても大変だと改めて実感しました。ですが、副委員長、委員をはじめ、全校のみなさんが協力してくださってリハーサルも計画通り行えました。計画は大変だったけれど、当日に向けて、しっかり準備ができ、あとは本番だというときに、私は体調を崩し、前日準備、そして本番のチャレンジランキングにも出ることができず、悔しい思いと申し訳ない気持ちになりました。三年生最後のチャレンジランキングに出られないことが情けなくなりました。ですが、チャレンジランキングは、大成功だったと副委員長から聞いたときは、泣きそうなほど嬉しかったです。また大縄跳びのとき、クラスの皆が私の分も跳ぼうと言ってくれたこともとても覚えています。二日目は参加ができ、合唱も全員できてとてもよい二日目でした。

私は、三年間、とてもたくさんの方がいて、大変なこと、楽しいこともいろいろありました。ですが、このクラス、この学年の一員で本当に良かったと心から思えます。今年は新型コロナウイルスに左右される一年でしたが、この学年だから乗り越えてきたと思います。明日でみんなとは、お別れですが、大切な思い出を作りたいです。

【3年女子】



### 3月の校長講話より

3月3日（水）、今年度、最終の校長講話も、前回に引き続き、「クラウドを活用したオンライン対話型」で行いました。講話の内容が、google meet を通じて、各教室のスクリーンにスライドで示され、さらに、まとめとして、1人1台タブレット PC を使い、Google フォームにて全校生徒1人1人からアンケートを回収しました。今年度、一年かけて整備してきた GIGA スクールに向けて本校の ICT 環境を生かした校長講話となりました。

### SDG s の視点で学びや活動を見直そう

学校長より、『10年後（令和12年度（2030年度））みなさんは、どこで、何をしていますか』の問いかけがあり、「3年生は25歳、2年生は24歳、1年生は23歳と、多くの人は社会人に。まだ学生の人も、中には、結婚して、子育てをしている人も、須坂に住んでいる人、市外・県外・国外に住んでいる人も」人それぞれではあるが、「誰もが笑顔で**幸せ**であってほしい」願いが伝えられました。

そのためにどのようなことが必要なのか、現在の予測困難な時代に、**1人1人が未来の創り手となり、持続可能な社会**の必要性が叫ばれていることを森永製菓の『1チョコ for 1スマイル』の「持続可能な未来のためにできること、お菓子を通して世界の子どもたちの明るい未来を応援する活動」を例に取り上げました。この持続可能な開発については、日本の企業だけのことではなく、『持続可能な開発目標「SDG s」』として、世界中で取り組まれていることを紹介しました。



### ゴミ拾い登校は…

近年、この「SDG s」の活動に長野県内の多くの企業、小中学校が取り組んでいます。さて、東中では、特段、持続可能な開発目標「SDG s」のもとでいろいろな活動を行っていませんでしたが、東中の活動を「SDG s」の視点で考えました。ゴミ拾い登校は、世界とどうつながっているのでしょうか。

ただ地域をきれいにしているだけではなさそうだ。  
 例えばプラスチックのゴミは、小さな破片（マイクロプラスチック）となって、3・6・11・14・15に影響する。  
 自分のまわりのことだけでなく、「持続可能」を意識し、世界の人々や未来、環境を考え行動できるようになるための教育が「質の高い教育=4」。

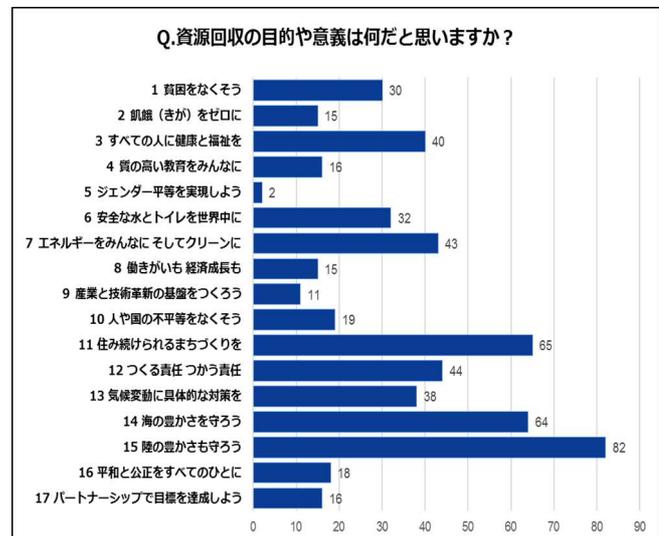
ゴミ拾い登校は、世界とどうつながっているのでしょうか

### 資源回収の目的や意義は

東中で行われている教育（授業や生徒会活動）を「SDG s」の視点で見直すとその学びや活動の目的・意義が変わります。何のためにやっているの。回収した物の行方は。収益金は何につかうの。贈る先は須坂荘だけ。

「SDG s」とどうつながるのか。『資源回収の目的や意義は何だと思えますか』について、Google フォームにて全校生徒にアンケート（複数回答可）をとりました。結果は右図の通りです。

今回の校長講話を通して、持続可能な東中学校を築くための更なる一歩となりました。



### 3年生を送る会が行われました

3月12日(金)に3年生を送る会が行われ、生徒会役員を中心に1, 2年生から3年生への温かいメッセージが送られ、3年生もそのメッセージに応じていました。

3年生の成長の姿を映像で振り返ったり、小学校の時の担任の先生からのメッセージビデオを見たりしました。最後、3年生の素晴らしい合唱で締めくくられ、温かい雰囲気の会となりました。



### お世話になりました ～本年度転退職する教職員の紹介～

令和2年度末の人事異動で、以下の11名の教職員が転退職することとなりました。お世話になりました。東中学校保護者・地域の皆さまには、常に温かいご支援をいただきました。ありがとうございました。11名の先生方におきましては、勤務した期間に違いはありますが、東中学校の生徒のために、それぞれがお力を尽くしてくださいました。本当にありがとうございました。

### ◇◇連絡◇◇

明日から「春休み(3月18日(木)～4月5日(月))」となります。まだまだ新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される状況が続いています。春休み中も感染症予防にご協力ください。

また、1, 2年生は、3月22日(月)「学力診断テスト」、30日(火)「新年度準備」のため登校日となります。「8:00～8:15」に登校してください。

休み中も検温、健康観察を続け、部活動や生徒会等で登校するときも含め、登校日には必ず、健康チェックカードを持参し、担当職員に提出をお願いします。

なお、休み中の学校からの連絡は「オクレンジャー」や「ホームページ」で行います。ご確認ください。

先週末、北信地域の県の感染レベルが上がりました。感染症予防に努め、体調や安全に気をつけて、充実した春休みにしてください。

保護者の方、地域の方におかれましては、一年間、本校の教育活動へご理解、ご協力いただきありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。